



社会福祉法人 京都障害者福祉センター

令和4年度決算の概要をお知らせします

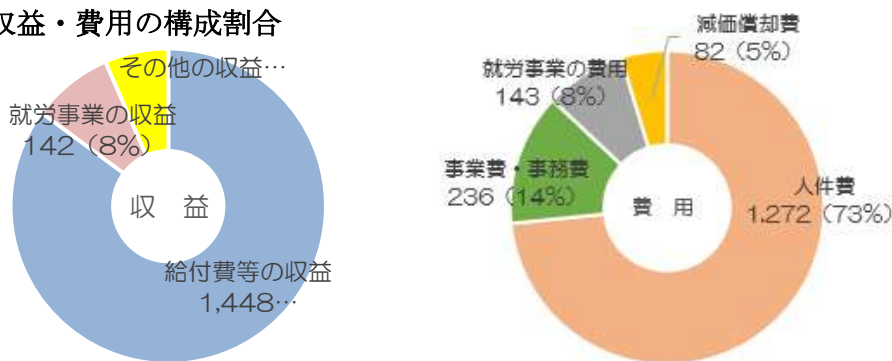
令和4年度決算が6月の評議員会で承認されました。

当法人の経営状況を表す「事業活動計算書」のサービス活動（＝本業部分）では、令和4年度は**△32百万円の赤字**となり、赤字幅が拡大傾向にあります。

（単位 百万円）

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
サ ー ビ ス 活 動	収 益	給付費等の収益	1,433	1,434	1,448
		就労事業の収益	111	125	142
		その他収益	112	110	111
		計	1,656	1,669	1,701
サ ー ビ ス 活 動	費 用	(人件費比率)	(78.8%)	(81.4%)	(81.6%)
		人件費	1,217	1,257	1,272
		事業費	96	93	103
		事務費	130	127	133
		就労事業の費用	126	128	143
		減価償却費	88	86	82
		計	1,657	1,691	1,733
差 額		△1	△22	△32	
サービス活動以外の差額		26	14	18	
当 期 差 額		25	△8	△14	
次 期 繰 越 差 額		1,800	1,789	1,770	

令和4年度の収益・費用の構成割合



障害福祉事業の収益のうち給付費等（補助金含む）の収益が85%となっていますが、このうち市補助金は年々減少（3年度に比べ17百万円減）しています。

また、費用の73%は人件費が占めています。障害福祉事業は人手を要する事業ですが、人件費比率（人件費÷収益（就労事業の収益を除く））は、年々上昇し令和4年度は81.6%に達しています。（令和2年度の全国の同種事業の平均は66.1%です）

当法人の事業を引き続き安定して運営していくためには、サービス活動差額を黒字化していくことが重要です。

令和5年度から給与制度の見直しとあわせて定年を65歳に延長したところですが、今後も利用者の増加等による収益の増加を図るとともに、人件費の動向を注視しつつ費用の削減に努め、収支改善を図っていく必要があります。

令和5年度第1回理事会が開催され、 令和4年度決算・事業報告等が承認されました。

令和5年度第1回理事会が、理事、監事出席の下、6月7日（月）午後2時から、洛南身体障害者福祉会館において開催されました。

理事会では、令和4年度決算・事業報告等について審議され、監事から監査報告がなされた後、法人収入に対する人件費率等について質疑の後、原案どおり承認されました。

また、理事の任期満了に伴う理事候補者を評議員会へ推薦する議案、監事の任期満了に伴う監事候補者を評議員会へ推薦する議案、評議員選任・解任委員会委員の辞任に伴う欠員を補充する議案については、特に意見、質疑等なく原案どおり承認されました。

報告事項その他では、外債運用に伴う4年度末の評価額について、利用者のマイナンバーカードの管理について、来年春新卒者の採用状況について、質疑が行われました。

◎審議事項

第1号議案 令和4年度第3次補正予算について

第2号議案 令和4年度決算について

第3号議案 令和4年度事業報告について

第4号議案 理事の任期満了に伴う理事候補者の評議員会への推薦について第5号議案 監事の任期満了に伴う監事候補者の評議員会への推薦について

第6号議案 評議員選任・解任委員会委員の辞任に伴う欠員の補充について

第7号議案 定時評議員会の招集事項について

報告事項

(1) 資金運用計画及び実施状況について

令和5年度第2回理事会が開催され、 理事長、常務理事が選定（再任）されました。

6月22日定時評議員終了後、うずまさ学園で、令和5年度第2回理事会が開催され、定時評議員会で選任された理事の中から、前田文男理事長、西田哲郎常務理事が選定（再任）されました。

◎審議事項

第1号議案 理事長の選定

第2号議案 常務理事の選定

令和5年度定時評議員会、第1回評議員事業報告会が開催され、令和4年度決算について承認されました。

令和5年度定時評議員会が、評議員、理事、監事出席の下、6月22日（木）午後2時から、うずまさ学園において開催されました。

定時評議員会では、令和4年度決算について、理事の任期満了に伴う理事の選任について、監事の任期満了に伴う監事の選任について審議され、原案どおり承認されました。

市の補助金削減の影響や対応、ヘルパー確保と法人としてのヘルパー養成について、質疑が行われました。

◎審議事項

第1号議案 令和4年度決算について

第2号議案 理事の任期満了に伴う理事の選任について

第3号議案 監事の任期満了に伴う監事の選任について

◎報告事項

令和4年度事業報告について

引き続き、令和5年度第2回評議員事業報告会が開催されました。

報告事項は次のとおりです。

- 1 令和5年度第2回理事会（理事長・常務理事の選定）の審議結果について
- 2 法人事業運営に関する報告

- (1) 資金運用計画及び実施状況について
- (2) 法人パンフレットの改訂について
- (3) 評議員会等の年間開催予定について（R5.6.22 現在）



(本部事務局)

全国京都障害者スポーツ大会 卓球バレーの部



6月18日(日)4年ぶりに「全京都障害者スポーツ大会卓球バレーの部」に出場しました。コロナ禍の中で、大会が中止になったり規模が縮小されたりと、中々参加する機会がなかったのですが、今回久しぶりに参加することができました。

ただ、この4年間卓球バレーをしていない事もあり、まずは参加するメンバー集めからのスタートとなりました。練習は参加できても大会当日は参加が難しいなどもあり、今回は洛南身体障害者福祉会館との合同チームでの出場となりました。

当日までに2回練習を行いました。即席のチームではありましたが、キャプテンを中心にポジションや申し送り事項の確認を行い、参加する方のチームワークを高めていきました。また、練習には初めて卓球バレーを体験して頂くご利用者の方もおられ、初めての競技でルールに戸惑いながらも参加され、少しずつですがスポーツの楽しみを感じておられました。

大会当日は天候にも恵まれ、まだまだ参加チームは少ないですが、久々の大会に少し緊張しつつ試合に挑みました。結果は、予選が1勝1敗で3位決定戦に勝利し、奇しくも4年前と同じ3位となり、翌日の朝礼では賞状を掲げながら報告をしてくださいました。参加された方の感想を聞くと、「楽しかったです。また参加したい」、「皆で卓球バレーができて良かった」、「コロナ後の大会でぶっつけ本番やったけど、良い成績がとれて嬉しかった。これからは少しずつ復活してほしい」といった感想がありました。

折角、卓球バレーが復活したので、今後はこちらも4年前の8月に開催した『洛陽児童館』との卓球バレー体験の開催など、障がい者スポーツを通じて地域との交流を図る機会を増やしたいと思います。以前のように小学校に訪問したり、近隣の施設を巡るなどお仕事とはまた違う形での交流活動も復活できればと思っています。



(洛南障害者授産所：松井 崇)

伏見エリアTOPICS 【いたはし学園】

「サンドウィッチ」を作ろう「体を動かそう！」を実施しました。



4月29日（土・祝）、くーぺの酒粕入り食パンを使ったサンドウィッチ作りを実施しました。具材はコロッケやチキンカツ、たまご、ツナ、ハム、ベーコン、アボカド、クリームチーズ、イチゴやバナナ、ブルーベリー等…たくさんの種類から好きな具材を選んで作っていただきました。

出来たサンドウィッチをカットしてオリジナルサンドウィッチが完成しました♪ 完成後はみんなでお披露目も楽しみました♪

5月6日（土）は伏見区総合庁舎内にある伏見青少年活動センターの体育館を借りて運動プログラムを実施しました。

バスケットボールや卓球、バレーなど、楽しく体を動かしました。ラリーをしたり、ストレッチをしたりと、普段あまり体を動かす機会が少ないため、いい汗をかき運動不足解消になりました。みなさん良い表情をされてました♪



イベント販売に参加してきました！

4月19日（水）国際ソロプチミスト京都様よりご依頼を頂き、ホテルオークラにて販売をさせていただきました。参加された利用者の方はピシッとアイロンされたシャツを着用し、いつもと違う雰囲気にとっても緊張されていましたが、75セットのパンセットや菓子セットがあっという間に完売しました！！



また、6月11日（日）には日本 CNS 看護学会様よりご依頼頂き販売に参加してきました。会場となった京都テルサでは、北海道から沖縄まで総勢1,300名以上の看護師の方が参加されている大規模な学会で、こちら会場では170セットのパンを袋詰めしてセッティング…。大量のパンをその場でセットするのは大変でしたが、たくさんの方に購入していただきました！

どちらの販売も普段とは違い緊張感がある販売でしたが、どちらも完売！！「社会勉強になった！」「楽しかった！」と、とても良い経験になりました。

（いたはし学園：濱中 優希）

山科エリアTOPICS 【山科身体障害者福祉会館】

合同レクリエーション開催！



6月26日（月）山科身体障害者福祉会館 生活介護では初の試みとなる山科障害者授産所との合同レクリエーションを実施しました。今回は「ボッチャ」を企画し、計13名の利用者さんに参加していただきました。山科身体障害者福祉会館 VS 山科障害者授産所 のような形になり、お互い負けたくないピリピリモード！！というよりは和気あいあいとした雰囲気を楽しまれていました。今回は山科身体障害者福祉会館が勝利！その後は利用者さんが自己紹介をして初の合同レクリエーションは盛会のうちに終了しました。



普段の活動ではレクリエーションに参加されない利用者さんも数名参加していただき、今回の企画に興味をもっていただけたかなと感じています。同じ建物の利用者さん同士、よく顔も合わずのでこのような企画を通じ、交友の幅が広がれば良いなと思っています。山科授産所の皆さん、またレクリエーションへの参加よろしくお祈いします♪

（山科身体障害者福祉会館：奥村 友章）

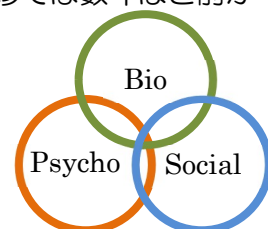
ニーズ整理 とは

今回は相談支援専門員であれば知っている「ニーズ整理表」について、自身の整理を兼ねて支援センターニュースとして記していきたいと思います。

先月6/7(水)～9(金)、埼玉県にある国立障害者リハビリテーションセンターで厚生労働省・子ども家庭庁主催の「相談支援従事者指導者養成研修」(以下、国研修)が開催され、京都府から参加させて頂きました。(参加機関 47 都道府県。それぞれの自治体から行政職 1 名、相談支援機関 3 名が参加。)

私が参加したコースは「ケアマネジメント基礎コース」というものでしたが、このコースでは特に「ニーズ整理」に注力された内容になっており、ニーズ整理を行うための思考のツール「BPS モデル」を使った事例の共有、ケース検討会議の演習が行われました。

この「BPS モデル」は、「生物(からだ)」-「心理(こころ)」-「社会(環境)」の3つの側面からアセスメントを行い、ニーズを抽出するというもので、後ほど説明していきますが、国研修では数年ほど前から初任者研修での採用を推奨しているものとなります。



このニーズ整理を考える際に、私の中でずっと根付いているニーズ論があります。

- ・フェルトニーズ(利用者が必要だと感じるニーズ)。
- ・ノーマティブニーズ(専門家が必要だと感じているニーズ)。
- ・リアルニーズ(取り組むべき真のニーズ)。

フェルトニーズとノーマティブニーズをすり合わせる事、つまり当事者と専門家で意見を突き合わせる事、すり合わせる事で、本当に必要な「こと」や「もの」が表出してくる、これがリアルニーズである。

この事を十数年前に、きらリンクの土屋さんが何かの研修会で話しをされていたのを覚えており、自分の思考の基礎として根付いています。交互作用の中で必要なものが見えてくる、というものです。

そのようなニーズ論があるのですが、BPS モデルの説明の前に、現在「京都府相談支援従事者初任者研修」(以下、初任者研修)でのニーズ整理について、どのような考え方をしているのかを簡単に説明していきます。

初任者研修では、以下の順番・項目でニーズ整理を行っています。

①本人の望みとは何か?	(本人が実現したい状況とは何か)
②利用者のストレングスとは何か?	(強み・環境の強みとは何か)
③現状はどうか?	
④現状から望みに達するまでに「必要なこと」「もの」とはなにか?	= それ「ニーズ」。

例えば、1人暮らしをしたいという望みがあった場合。

①本人の望みとは何か?	→親元を離れて1人暮らしをしたい事が本人の望み。
②利用者のストレングとは何か?	→社会的で、自分の意思をきちんと伝える事ができる。 →悩みを聞いてくれる友人がいる。
③現状	→親元で生活している。 →身の回り(家事や金銭管理など)の事について経験不足である
④現状から望みに達するまでに「必要なこと」「もの」とはなにか? = ニーズ	→家族に1人暮らしをしたい事を相談してみる。 →1人暮らしをするために料理の練習をしてみる。 →1人暮らしの体験室を利用してみる。 →1人暮らしの友人に話を聞いてみる。

陥りやすい捉え方として「本人の希望: 1人暮らしをしたい」→「ニーズ: 1人暮らしを始める」というもの。これでは何も整理がされていない事になります。何が必要なのかを考えていく事、

つまりその事がニーズとなります。

大事な視点は、本人の「希望」から出発する事で、周りが勝手に必要な事をあれこれ考える事ではなく、本人の「希望」から、足りない現状を満たすための方法、希望を達成するまでの工夫を考えていく事が京都府での考え方になっています。

※下記、京都府の初任者研修のニーズ整理表。

◇利用者のストレングス(強み、できること、持っているもの等)

個人:「望み」を念頭に個人因子(魅力、性格、経験)を記入する。事例の読み込みでは可能な限りメモし記入時に取捨選択すると良い。

環境:「望み」を念頭に環境因子(所有物、人、物理的環境など)を記入する。マイナス面はリフレーミング(視点の転換)をすると良い。例)口うるさい母親→心配してくれる母親 など

◇「望み」と「現状」の間にあるギャップを埋めるために「必要なこと」

ポイント!
「1. ○○がある」「2. ○○がない」「3. ○○を得る」では何も整理されない。望みに到達するために必要なことを考える。

ギャップを埋めるために必要なこと

1. 望み(本人の実現したい状況)

・本人が「実現したい」と思っている生活の状況を記入する。本人の意向を重視する。
・本人が何を望むかは自由なので、この段階では実現可能・不可能は判断しない。
・「一人暮らしをする」というように大まかではなく、その内容も合わせて具体的に記入する。
・「望み」と記載した根拠を()書きで付記しておく。(通所先での発言)や(外出中の○○の仕事)など。
・支援者の見立ても重要なので合わせて記入し、(様子や誰の見立て)などを付記しておく。

<ポイント>
・到達点として「○○する」「○○になる」と記載した方が状況が明確になる。望みの具体的な内容を明記する。
・根拠は()書きする。
・本人の望み、家族の意向、支援者の見立てでも同様に()書きする。

2. 現状(望みに対する現在の状況)

・本人の「望み」で記載した状況に対応した、現在の状況を記入する。
・「望み」に対応した現状は必ずしも一側面だけではないので、必要に応じて様々な側面から記入する。
例)旅行に行く。 → 一緒に行く人がいる。
→ 旅費がない。
・マイナス面だけでなく、プラス面も含めて記入する。
・ストレングスを十分に意識する。
・経験の有無や認識の程度なども合わせて記入しておく。その際、根拠を()書きで付記しておく。

<ポイント>
・この項目(現状)から書き始めるのは絶対に避ける。
・1つの「望み」について、何はあるが、何はないのかをできる限り詳細かつ具体的に書き出し、いく。
・「○○がある」→「○○がない」でなく詳細に吟味する。
・先に挙げたストレングスも十分に意識して記載する。

3. ニーズ(必要なこと・もの)

・「望み」と「現状」の間にあるギャップを埋めるために必要なこと、ものを記入する。
・本人の感じているニーズを大切にしながら、支援者の見立ても合わせて記入する。その際、だれの見立てなのかを()書きで付記しておく。
・本人(個人因子)の変化だけでなく、環境因子の変化(環境整備など)も考慮して記入する。
・安全安心だけでなく豊かさに対応するニーズも含めて記入する。
・「2. 現状」+「3. ニーズ」=「1. 望み」となっているかを確認し、不足やズレがあれば、加筆や修正を行う。

<ポイント>
・「○○したい」ではなく「○○できる」や「○○がある」などニーズの内容を明記する。
・誰の意見(見立て)なのかを()書きで付記しておく。
・サービスの種類などを限定しないよう注意する。
※サービス以外での支援方法も視野に入れて考える必要があるため、この段階ではサービスの利用を前提としないようにすることが重要です。

次に、国研修で推奨している「BPSモデル」についてです。

このモデルは、ジョージエンゲルが1970代に提唱したモデルですが、この考えを紐解いていくと、1940年代の第二次世界大戦中の公衆衛生学の領域や、WHOの憲章にある「健康」の定義にも、そもそも見出されていた視点・考え方となっています。

全ての出来事が生物的、心理的、社会的の3つ側面があり、その出来事が相互作用し、関連しあっているという認識、その考え方がBPSモデルの視点となりますが、下記の順番で整理をしていく事になります。

①本人について (大づかみに捉えた本人像、課題となっている事、ストレングス)
①本人の望みとは何か? (本人が実現したい状況とは何か。)
②生物的・心理的・社会的のアセスメント。 ※ここで言うアセスメントは「相談支援専門員の理解・解釈・仮説」であり主観的なもの。
③ ②で記した3つの側面の根拠となる「情報」や「エピソード」とは何か?
④ ②で記したアセスメントから導き出される支援課題 = ニーズ

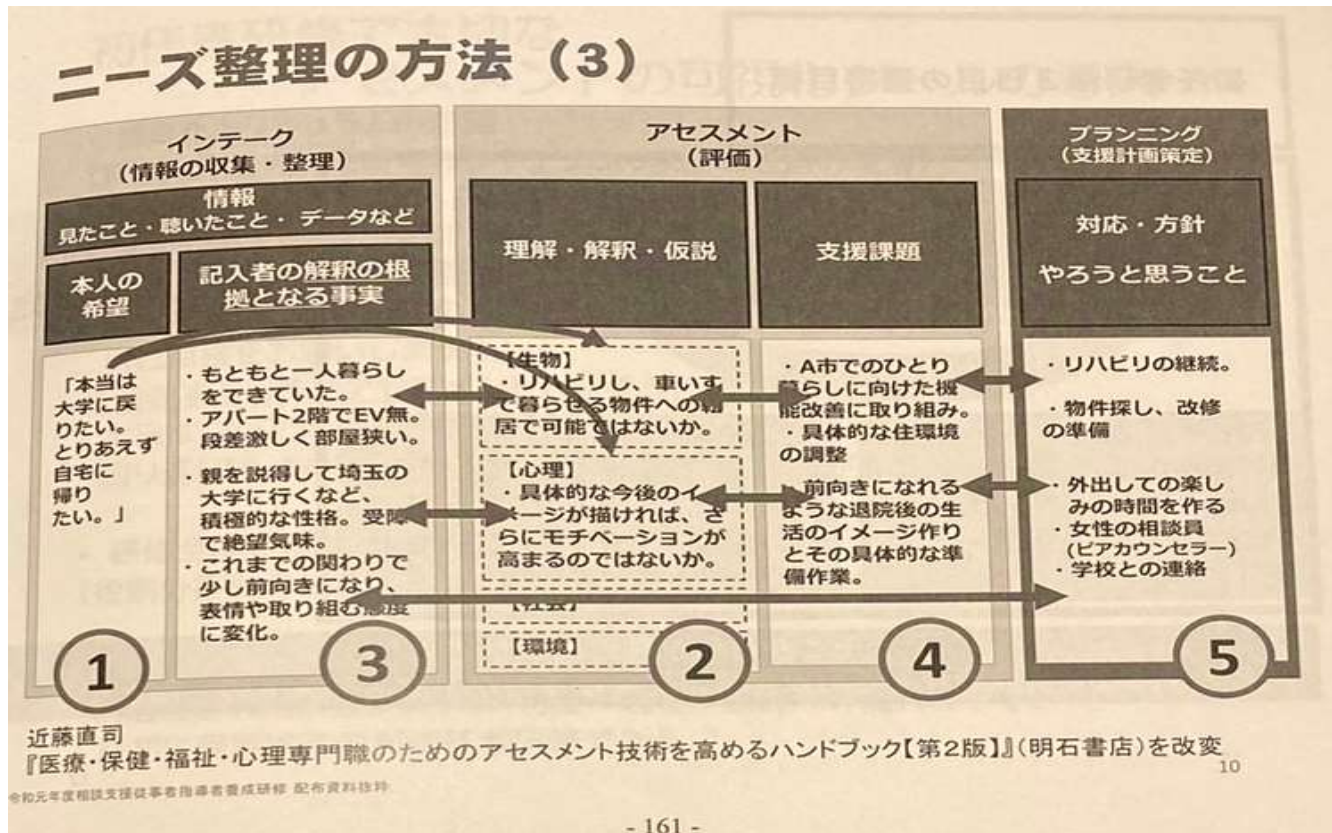
なかなか文字だと説明しづらいのですが、実践の場で、頭の中で思考する過程を、可視化するためのツールだと言えます。

京都府の初任者研修でお伝えしている方法と何が違うのか、というと「必要なこと」「もの」の根拠を示す時に用いるものになるのではないかと、つまり「ニーズを導いてきた根拠は何か」という所なのかなと現時点では考えています。

といっても、現在の初任者研修のニーズ整理と国研修でのニーズ整理が、私の頭の中で統合しにくく、自分でも「本当にそういう事か?」と悩みながら記しており、今後自身の中で精査していく事が課題になっています…。

しかし、はっきりしている事は、とてもわかりやすいという事。使ってみないと実感はできないのですが、思考が整理しやすく、他者に対して説明がしやすいという特徴があります。支援の根拠が示される事で、周りも理解がしやすくなるツールと言えます。参加されている他の都道府県の方に聞くと、要素を取り入れながら初任者研修を実施している、と言われており、全国的にこのBPSモデルが広がっているように感じています。

※下記、BPSモデルのニーズ整理表となります。



以上がニーズ整理について京都府での考え方、国研修で学ぶ事ができたニーズ整理についての考え方でした。文章だけだと中々分かりにくいと反省するところですが、ひとまず報告と整理を兼ねてニュースとさせていただきます。

今回の研修では新たな視点を得られた事、また数年ぶりの対面研修となった事で、他の都道府県の方とも交流ができ、とても刺激的な研修会となりました。

今後の課題としては、この考え方をいながら実践を行う事、それを広げていく事、初任者研修でも活かしていく事だと考えています。

研修の中で介護保険の動向の講義もありましたが、介護保険分野では「適切なケアマネジメントの手法」という、ケアマネジメントにおける適切な思考の「過程」の研究が十数年前から進められており、現在の介護支援専門員の養成カリキュラムの中に取り入れられています。それを受け、障害分野でも厚生労働科学研究で現在研究が進められています。(「障害者相談支援におけるICTやAI等の活用の方向性」)

これは、ケアプランを画一化する事ではなく、またケアプランを標準化する事でもない、要はケアマネジメントプロセスの思考過程を「標準化」する事。思考プロセスや知識は標準化できる、という考え方になっています。

支援センター「らくなん」でも何が大事であるのか、どのような視点を持つべきなのか。そういう事を皆で意識しながら日々ケースにあたっていますが、それを可視化していく事で、思考のプロセスが理解でき、質向上に繋がっていくと今回の研修を経て、より深く理解する事ができました。

来年3月には、オンラインで国研修の最終講義・演習が行われる予定です。またこのニュースを持って報告させていただきます。

(中部障害者地域生活支援センター「らくなん」: 大塚 秀樹)

就労支援事業所では、企業の方からの仕事の発注をお受けしています。
掲載のない業務でも、依頼したい仕事等がありましたら御相談下さい。

京都市洛南身体障害者福祉会館

TEL 075-691-2468 FAX 075-691-9226

受注可能役務

一般企業や他の就労系事業所から委託を受けた、内職作業を中心とした軽作業全般。箱折り、各種紙製品加工、雑貨組立、各種シール貼り、食品加工等

京都市山科障害者授産所

TEL 075-591-8771 FAX 075-591-8772

受注可能役務

印刷（名刺、冊子、封筒、パンフレット、文字入力、編集、製本）下請作業（紙加工、ネジの加工、封入封緘など）館内清掃

受注可能商品

オリジナル商品製作（シルクスクリーンプリントによるエコバックなど布小物）

京都市洛南障害者授産所

TEL 075-671-8439 FAX 075-661-0894

受注可能役務

印刷全般、製本加工、アンケート入力、データ入力、テープ起こし、DM等封入・封緘・仕分け、紙加工（箱折）、部品組立、シール貼り等軽作業、講師派遣

受注可能商品

オリジナルカレンダー

京都市やましな学園

TEL 075-591-8841 FAX 075-591-8842

受注可能役務

清掃、除草、食器洗浄、ポスティング、古紙リサイクル、各種下請け業務（100円均一等の商材加工、チラシ折り、箱折り）

受注可能商品

やさいも

京都市伏見障害者授産所

TEL 075-603-1291 FAX 075-603-1292

受注可能役務

印刷全般、アンケート入力集計、データ入力、封入・封緘、清掃、アルミ缶回収、菓子箱組立、各種袋詰、検品・仕分け、その他下請け業務

受注可能商品

和柄を使ったヘアアクセサリ（ヘアピン・ヘアゴム・シュシュ等）布を使った小物製品、メモ・カード等の紙製品、ポップコーン出張販売

京都市だいが学園

TEL 075-571-7216 FAX 075-571-7217

受注可能役務

各種下請け業務（チラシ封入、100円均一商材加工、お菓子の袋詰め等）

受注可能商品

ドーナツ、焼きドーナツ、パウンドケーキ、パンの卸販売、出向販売及び一部商品のOEM提供

京都いたはし学園

TEL 075-605-4800 FAX 075-605-4801

受注可能役務

清掃、除草、箱折、各種袋詰などの下請け作業

受注可能商品

各種パン、クッキー・ラスク・ケーキなどの焼き菓子

京都市うずまさ学園

TEL 075-873-5353 FAX 075-864-4753

受注可能役務

各種袋入れ、箱折、封入封緘、その他軽作業

受注可能商品

パン、シフォンケーキ、クッキー、フィナンシェなどの焼き菓子